

# 2024年4月・GWのDATASALAD 宿泊稼働指数

～7カ月連続で前年を下回る GWは佐野市・萩市などで高い

2024年5月8日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調 DATASALAD (<https://datasalad.jp/>) では、景気、産業、社会に関する政府統計に加え、人流や求人等のビッグデータ・オルタナティブデータを、地域の景気や産業の動向を分析する指標として加工、可視化している。

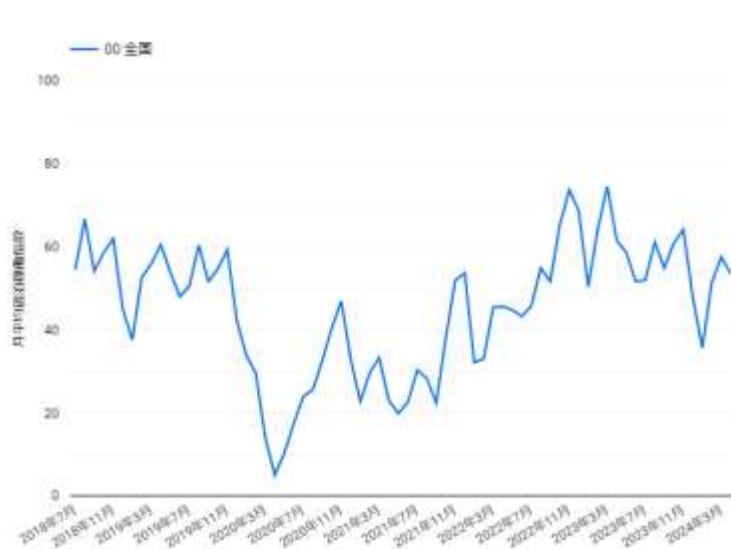
本稿では、当会が宿泊予約サイトより取得したデータをもとに算出している「宿泊稼働指数<sup>1</sup>」を活用し、2024年4月・GWにおける宿泊施設の稼働動向を分析する。

## 1. 全国の宿泊稼働指数：7カ月連続で前年を下回る

2024年4月における全国の宿泊稼働指数は53.5で、前月の57.5を下回り、3カ月ぶりに前月差マイナスとなった（図1）。

前年差は▲8.0ptであり、7カ月連続のマイナスとなった。前月と同様、新型コロナ収束後で旅行需要が急拡大した前年の反動減である。なおコロナ禍前の同月と比較すると、2024年が2019年を下回っている（2019年4月：60.5）。

図1 宿泊稼働指数の推移（全国）



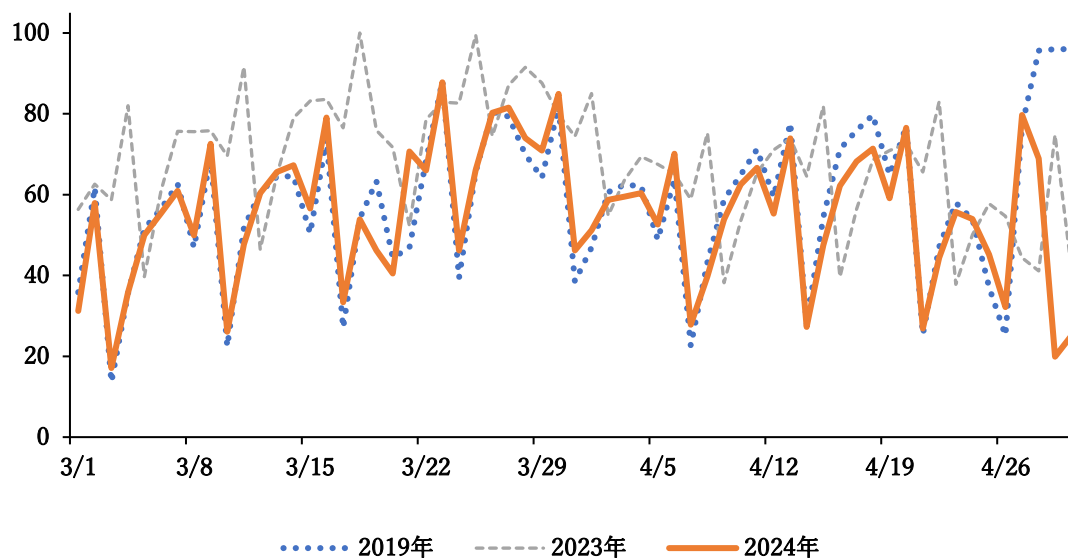
年月	地域	指数	前年度
1. 2024年4月	00 全国	53.5	-8.0
2. 2024年3月	00 全国	57.5	-17.1
3. 2024年2月	00 全国	61.4	-12.7
4. 2024年1月	00 全国	65.6	-14.8
5. 2023年12月	00 全国	67.9	-20.8
6. 2023年11月	00 全国	64.2	-6.5
7. 2023年10月	00 全国	60.8	-4.4
8. 2023年9月	00 全国	54.9	3.3
9. 2023年8月	00 全国	61.1	-6.2
10. 2023年7月	00 全国	62.0	-6.3
11. 2023年6月	00 全国	51.6	-8.4
12. 2023年5月	00 全国	58.5	13.8
13. 2023年4月	00 全国	61.5	15.9
14. 2023年3月	00 全国	74.5	29.2
15. 2023年2月	00 全国	64.1	31.0
16. 2023年1月	00 全国	50.4	18.3

注) 2024年5月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

<sup>1</sup> 宿泊稼働指数は日次の空室の水準を指数化したもので、九経調が独自に推計。原数値は0から100の間の数値をとり、稼働状況が良い場合は100に、稼働状況が悪い場合は0に近づく。算出方法は「参考資料」を参照  
 なお、従業員不足等の供給制約による稼働率低下が指摘されるなか、本指数が宿泊予約サイトの空室情報を基に算出している関係で、統計上の延べ宿泊者数・施設稼働率よりも上振れしている可能性に留意が必要である

図2は2019年、2023年、2024年の3～4月における日別宿泊稼働指数の推移を示している。2024年4月の動きを2023年と比較すると、上・中旬は差が開いたが、下旬には日曜日を除き差が縮小していることが分かる。なお2019年との比較では、月末の連休（2019年は改元に伴う10連休）の差が大きい。

図2 直近2カ月の日別宿泊稼働指数の推移（全国）



注) 原数値 2024年5月7日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

## 2. 地域ブロック別の宿泊稼働指数：11地域で前年差マイナス

2024年4月の宿泊稼働指数を12の地域ブロック別にみると、北陸(69.8)で最も高く、以下南関東(66.2)、近畿(59.0)と続く(表1)。

前年との比較では、震災関連・応援割必要な動きを示した北陸を除く11地域で前年差マイナスとなった。特に九州(前年差▲18.9pt、8カ月連続マイナス)や東北(同▲16.5pt)でマイナスが大きくなった。

前月との比較では、甲信越、東北、北関東、北陸の4地域で前月差プラスとなった。なお九州は、同▲15.3ptで2カ月連続のマイナスとなった。

表1 地域ブロック別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2023年	2024年	2024年	
	4月	3月	4月	前年差
全国	61.5	57.5	53.5	▲8.0
北海道	38.5	31.1	25.9	▲12.6
東北	61.6	41.5	45.1	▲16.5
北関東	64.8	50.9	51.3	▲13.5
南関東	69.1	69.0	66.2	▲2.9
甲信越	57.3	46.3	56.6	▲0.7
東海	51.4	53.6	46.5	▲4.9
北陸	51.2	69.6	69.8	18.6
近畿	61.5	60.4	59.0	▲2.5
中国	61.0	59.7	52.8	▲8.2
四国	55.7	52.5	43.7	▲12.0
九州	62.8	59.2	43.9	▲18.9
沖縄	54.0	56.5	52.1	▲1.9

注) 2024年5月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表2 地域ブロック別宿泊稼働指数

< 指数順 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	C006 北陸	69.8	18.6
2. 2024年4月	C0032 南関東	66.2	-2.9
3. 2024年4月	C007 近畿	59.0	-2.5
4. 2024年4月	C004 甲信越	56.6	-0.7
5. 2024年4月	C008 中国	52.8	-8.2
6. 2024年4月	C011 沖縄	52.1	-1.9
7. 2024年4月	C0031 北関東	51.3	-13.5
8. 2024年4月	C005 東海	46.5	-4.9
9. 2024年4月	C002 東北	45.1	-16.5
10. 2024年4月	C010 九州	43.9	-18.9
11. 2024年4月	C009 四国	43.7	-12.0
12. 2024年4月	C001 北海道	25.9	-12.6

< 前年差順 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	C006 北陸	69.8	18.6
2. 2024年4月	C004 甲信越	56.6	-0.7
3. 2024年4月	C011 沖縄	52.1	-1.9
4. 2024年4月	C007 近畿	59.0	-2.5
5. 2024年4月	C0032 南関東	66.2	-2.9
6. 2024年4月	C005 東海	46.5	-4.9
7. 2024年4月	C008 中国	52.8	-8.2
8. 2024年4月	C009 四国	43.7	-12.0
9. 2024年4月	C001 北海道	25.9	-12.6
10. 2024年4月	C0031 北関東	51.3	-13.5
11. 2024年4月	C002 東北	45.1	-16.5
12. 2024年4月	C010 九州	43.9	-18.9

注) 2024年5月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

### 3. 都道府県別の宿泊稼働状況： 10 府県で前年差プラス

2024年4月の宿泊稼働指数を47都道府県別にみると、富山県(76.0)で最も高く、このほか東京都(73.2)、石川県(72.1)などで高水準となった(表3)。

前年差は、石川県(前年差+22.7pt)、富山県(同+16.6pt)、福井県(同+11.4pt)をはじめ10府県でプラスとなった。このほか、北陸応援割の適用地域となった新潟県のほか三重県、京都府、和歌山県など近畿の各府県にて前年を上回っている。一方で九州では、鹿児島県(同▲32.0pt)、熊本県(同▲24.3pt)、長崎県(同23.9pt)でマイナス幅が大きい。

表3 都道府県別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2023年	2024年	2024年			2023年	2024年	2024年			
	4月	3月	4月	前年差		前月差	4月	3月	4月	前年差	前月差
全国	61.5	57.5	53.5	▲ 8.0	▲ 4.0	三重県	39.1	60.3	44.3	5.2	▲ 16.0
北海道	38.5	31.1	25.9	▲ 12.6	▲ 5.2	滋賀県	71.2	59.1	55.5	▲ 15.7	▲ 3.6
青森県	68.7	38.4	52.8	▲ 15.9	14.4	京都府	65.2	65.1	69.0	3.8	3.9
岩手県	53.3	31.4	38.6	▲ 14.7	7.2	大阪府	65.9	58.6	59.2	▲ 6.7	0.6
宮城県	68.2	48.6	46.5	▲ 21.7	▲ 2.1	兵庫県	53.8	61.0	51.3	▲ 2.5	▲ 9.7
秋田県	64.7	40.5	54.7	▲ 10.0	14.2	奈良県	63.1	58.4	58.9	▲ 4.2	0.5
山形県	57.1	40.1	35.9	▲ 21.2	▲ 4.2	和歌山県	36.3	63.7	47.0	10.7	▲ 16.7
福島県	56.7	45.4	44.8	▲ 11.9	▲ 0.6	鳥取県	60.1	50.6	52.8	▲ 7.3	2.2
茨城県	72.5	54.8	57.0	▲ 15.5	2.2	島根県	60.8	68.8	71.2	10.4	2.4
栃木県	62.1	49.2	54.0	▲ 8.1	4.8	岡山県	56.7	59.1	47.8	▲ 8.9	▲ 11.3
群馬県	60.5	49.9	43.8	▲ 16.7	▲ 6.1	広島県	68.9	63.1	53.6	▲ 15.3	▲ 9.5
埼玉県	67.4	63.9	61.7	▲ 5.7	▲ 2.2	山口県	62.3	56.9	46.9	▲ 15.4	▲ 10.0
千葉県	54.3	61.5	54.1	▲ 0.2	▲ 7.4	徳島県	70.0	46.8	36.6	▲ 33.4	▲ 10.2
東京都	74.2	73.9	73.2	▲ 1.0	▲ 0.7	香川県	50.5	55.3	49.8	▲ 0.7	▲ 5.5
神奈川県	60.3	67.5	60.8	0.5	▲ 6.7	愛媛県	47.3	51.6	44.2	▲ 3.1	▲ 7.4
新潟県	52.4	46.8	59.1	6.7	12.3	高知県	67.6	67.8	54.7	▲ 12.9	▲ 13.1
富山県	59.4	64.0	76.0	16.6	12.0	福岡県	61.5	67.4	52.3	▲ 9.2	▲ 15.1
石川県	49.4	77.0	72.1	22.7	▲ 4.9	佐賀県	70.7	59.2	51.9	▲ 18.8	▲ 7.3
福井県	53.4	66.8	64.8	11.4	▲ 2.0	長崎県	67.5	52.3	43.6	▲ 23.9	▲ 8.7
山梨県	64.0	59.7	64.9	0.9	5.2	熊本県	64.9	56.8	40.6	▲ 24.3	▲ 16.2
長野県	60.0	43.0	53.5	▲ 6.5	10.5	大分県	62.5	67.7	49.0	▲ 13.5	▲ 18.7
岐阜県	52.8	46.5	52.1	▲ 0.7	5.6	宮崎県	56.8	57.0	42.1	▲ 14.7	▲ 14.9
静岡県	53.3	59.7	45.0	▲ 8.3	▲ 14.7	鹿児島県	70.0	53.0	38.0	▲ 32.0	▲ 15.0
愛知県	54.5	53.7	53.3	▲ 1.2	▲ 0.4	沖縄県	54.0	56.5	52.1	▲ 1.9	▲ 4.4

注) 2024年5月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表4 都道府県別宿泊稼働指数ランキング

&lt; 指数順・上位 &gt;

	年月	地域	指数 ↓	前年差
1.	2024年4月	16 富山県	76.0	16.6
2.	2024年4月	13 東京都	73.2	-1.0
3.	2024年4月	17 石川県	72.1	22.7
4.	2024年4月	32 島根県	71.2	10.4
5.	2024年4月	26 京都府	69.0	3.8
6.	2024年4月	19 山梨県	64.9	0.9
7.	2024年4月	18 福井県	64.8	11.4
8.	2024年4月	11 埼玉県	61.7	-5.7
9.	2024年4月	14 神奈川県	60.8	0.5
10.	2024年4月	27 大阪府	59.2	-6.7
11.	2024年4月	15 新潟県	59.1	6.7
12.	2024年4月	29 奈良県	58.9	-4.2
13.	2024年4月	08 茨城県	57.0	-15.5
14.	2024年4月	25 滋賀県	55.5	-15.7
15.	2024年4月	39 高知県	54.7	-12.9
16.	2024年4月	05 秋田県	54.7	-10.0

&lt; 前年差順・上位 &gt;

	年月	地域	指数	前年差 ↓
1.	2024年4月	17 石川県	72.1	22.7
2.	2024年4月	16 富山県	76.0	16.6
3.	2024年4月	18 福井県	64.8	11.4
4.	2024年4月	30 和歌山県	47.0	10.7
5.	2024年4月	32 島根県	71.2	10.4
6.	2024年4月	15 新潟県	59.1	6.7
7.	2024年4月	24 三重県	44.3	5.2
8.	2024年4月	26 京都府	69.0	3.8
9.	2024年4月	19 山梨県	64.9	0.9
10.	2024年4月	14 神奈川県	60.8	0.5
11.	2024年4月	12 千葉県	54.1	-0.2
12.	2024年4月	21 岐阜県	52.1	-0.6
13.	2024年4月	37 香川県	49.8	-0.7
14.	2024年4月	13 東京都	73.2	-1.0
15.	2024年4月	23 愛知県	53.3	-1.2
16.	2024年4月	47 沖縄県	52.1	-1.9

&lt; 指数順・下位 &gt;

	年月	地域	指数 ↑	前年差
1.	2024年4月	01 北海道	25.9	-12.6
2.	2024年4月	06 山形県	35.9	-21.2
3.	2024年4月	36 徳島県	36.6	-33.4
4.	2024年4月	46 鹿児島県	38.0	-32.0
5.	2024年4月	03 岩手県	38.6	-14.7
6.	2024年4月	43 熊本県	40.6	-24.3
7.	2024年4月	45 宮崎県	42.1	-14.7
8.	2024年4月	42 長崎県	43.6	-23.9
9.	2024年4月	10 群馬県	43.9	-16.6
10.	2024年4月	38 愛媛県	44.2	-3.1
11.	2024年4月	24 三重県	44.3	5.2
12.	2024年4月	07 福島県	44.8	-11.9
13.	2024年4月	22 静岡県	45.0	-8.3
14.	2024年4月	04 宮城県	46.5	-21.7
15.	2024年4月	35 山口県	46.9	-15.4
16.	2024年4月	30 和歌山県	47.0	10.7

&lt; 前年差順・下位 &gt;

	年月	地域	指数	前年差 ↑
1.	2024年4月	36 徳島県	36.6	-33.4
2.	2024年4月	46 鹿児島県	38.0	-32.0
3.	2024年4月	43 熊本県	40.6	-24.3
4.	2024年4月	42 長崎県	43.6	-23.9
5.	2024年4月	04 宮城県	46.5	-21.7
6.	2024年4月	06 山形県	35.9	-21.2
7.	2024年4月	41 佐賀県	51.9	-18.8
8.	2024年4月	10 群馬県	43.9	-16.6
9.	2024年4月	02 青森県	52.8	-15.9
10.	2024年4月	25 滋賀県	55.5	-15.7
11.	2024年4月	08 茨城県	57.0	-15.5
12.	2024年4月	35 山口県	46.9	-15.4
13.	2024年4月	34 広島県	53.6	-15.3
14.	2024年4月	03 岩手県	38.6	-14.7
15.	2024年4月	45 宮崎県	42.1	-14.7
16.	2024年4月	44 大分県	49.0	-13.5

注) 2024年5月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

#### 4. 能登半島地震による影響：下旬は観光による動き目立つ 金沢市・高岡市で前月から低下

2024年1月1日発生に発生した令和6年能登半島地震により、石川県・富山県では、施設の営業休止、災害復旧関連、および被災者の二次避難など、地震に関連した宿泊需要変動が続いている。また、3月16日には北陸4県を対象とした「北陸応援割」が開始となり、同日には北陸新幹線の金沢・敦賀間が開業となった。

北陸・周辺地域の県・主要市別で4月の宿泊稼働指数をみると、復旧関連人員の宿泊地としての利用が多かった高岡市や金沢市では前月から低下した。一方で観光利用の比率も高い富山市、加賀市では前月からの上昇がみられ、また上旬から下旬にかけて上昇している。福井市やあわら市も、新幹線開業の反動から前月からは低下したものの、上旬から下旬にかけて上昇がみられ、4月下旬に観光需要による宿泊施設稼働の動きが大きかったことが推察される。

表5 北陸地域・周辺地域の都道府県・市町村別宿泊稼働指数

	2019年	2024年	2024年	2024年	2024年	
	4月	2月	3月	4月	1～14日	15～30日
全国	60.5	51.4	57.5	53.5	54.3	52.9
富山県	55.7	59.2	64.0	76.0	68.2	82.8
石川県	55.0	73.6	77.0	72.1	74.2	70.3
福井県	58.8	43.8	66.8	64.8	57.4	71.2
新潟県上越市	61.4	37.8	46.7	72.3	79.7	65.8
富山県富山市	63.2	59.4	60.4	76.1	67.9	83.3
富山県高岡市	52.5	85.6	88.1	84.9	81.0	88.3
石川県金沢市	55.3	70.3	73.9	65.9	68.7	63.4
石川県加賀市	50.4	68.2	73.6	77.0	74.3	79.3
福井県福井市	54.9	48.6	75.1	69.2	62.3	75.2
福井県あわら市	63.2	73.1	86.8	76.8	72.1	80.9
岐阜県高山市	83.0	46.6	52.3	59.7	54.8	64.1

注) 2024年5月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

#### 4. ゴールデンウィークの動向： 指数は前年より低下 佐野市・萩市などで高い

2024年ゴールデンウィーク（4月27日～5月6日）の宿泊稼働指数（原数値の10日間平均）は全国で50.0となり、前年（4月29日～5月7日）の62.2を下回った。

全国の主な市町村<sup>2</sup>で宿泊稼働指数が最も高かったのは佐野市（栃木県）の88.2であった。同市では藤棚で有名な「あしかがフラワーパーク」への来訪を目的とした宿泊者が多いとみられる。このほか、温泉地の下呂市（岐阜県）、インバウンドの人気も高い富士山周辺の富士吉田市（山梨県）が上位となった。また前年と比較して、城下町などの歴史的町並み、寺社の門前町を有する市町村のランクインが目立っている。

また九州・沖縄・山口をみると、最も指数が最も高かったのは萩市（山口県）で、以下阿蘇市（熊本県）、由布市（大分県）、平戸市（長崎県）と続く。なお九州・沖縄・山口では、上位市町村でも指数が前年から低下した市町村が多い。

（参考資料として、P15・16に全国、九州・沖縄・山口のランキングを掲載）

表6 市町村別2024年ゴールデンウィーク期間宿泊稼働指数（抜粋）

市町村	指数	市町村	指数	市町村	指数
札幌市	32.6	福井市	62.9	山口市	69.6
函館市	72.4	あわら市	86.8	萩市	86.5
千歳市	35.0	富士吉田市	87.0	高松市	55.1
虻田郡洞爺湖町	85.5	長野市	55.5	仲多度郡琴平町	85.6
青森市	62.5	松本市	75.0	松山市	56.7
八戸市	51.7	北佐久郡軽井沢町	58.7	高知市	66.6
盛岡市	55.3	高山市	66.3	四万十市	78.5
仙台市	54.2	下呂市	87.8	北九州市	40.2
山形市	56.8	静岡市	52.9	福岡市	58.2
会津若松市	78.6	熱海市	78.1	佐賀市	46.5
いわき市	59.1	名古屋市	47.9	嬉野市	70.3
水戸市	53.9	伊勢市	79.1	長崎市	49.5
宇都宮市	65.1	志摩市	77.3	島原市	69.9
足利市	72.4	京都市	62.4	平戸市	78.4
佐野市	88.2	大阪市	41.4	熊本市	50.7
日光市	78.2	神戸市	49.6	阿蘇市	83.6
渋川市	75.4	洲本市	78.7	大分市	46.6
吾妻郡草津町	75.4	奈良市	60.6	別府市	74.1
千葉市	43.8	新宮市	83.5	由布市	83.0
成田市	42.5	米子市	67.8	宮崎市	43.8
東京都特別区部	47.1	松江市	72.5	鹿児島市	50.8
横浜市	43.5	出雲市	81.6	霧島市	49.3
足柄下郡箱根町	76.3	岡山市	50.2	奄美市	46.0
新潟市	50.0	倉敷市	58.9	那覇市	43.2
富山市	58.0	広島市	57.1	石垣市	49.3
金沢市	45.1	尾道市	72.9	国頭郡恩納村	66.0

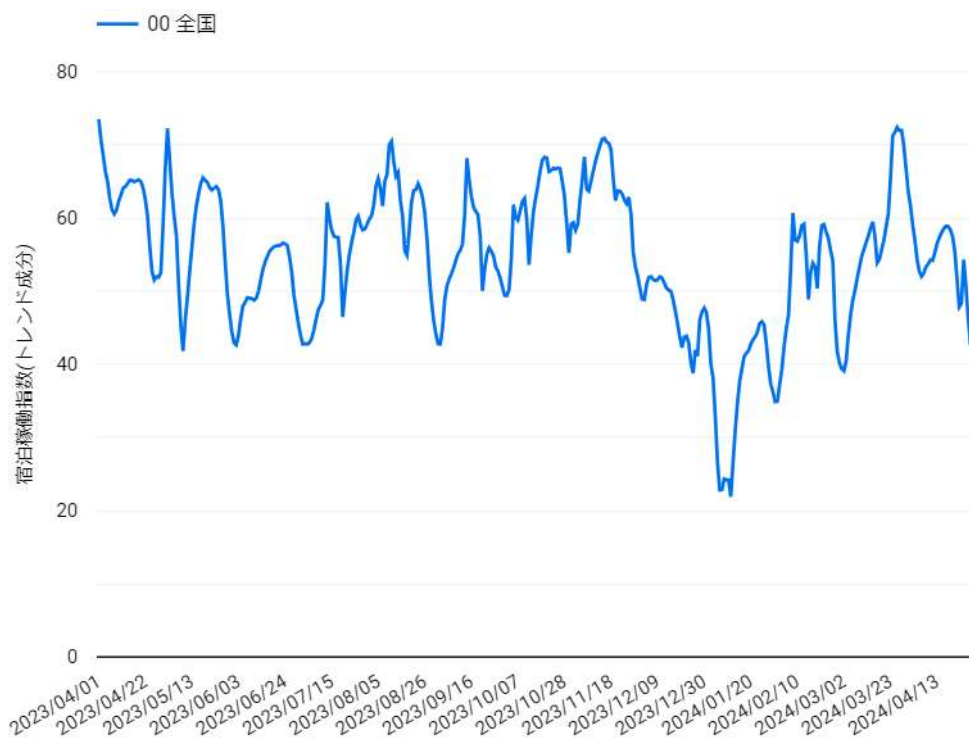
注) 2024年5月7日時点の推計値、宿泊稼働指数の上位市町村、および宿泊施設の多い市町村、主要観光地を含む市町村を抽出  
資料) 九経調 DATASALAD

<sup>2</sup> 2018年以降の全期間における最大空室数が150以上の市町村を集計対象とする

## 5. 参考：日次推移

図3 全国・地域ブロック別の日次推移（トレンド成分）

&lt;全国&gt;

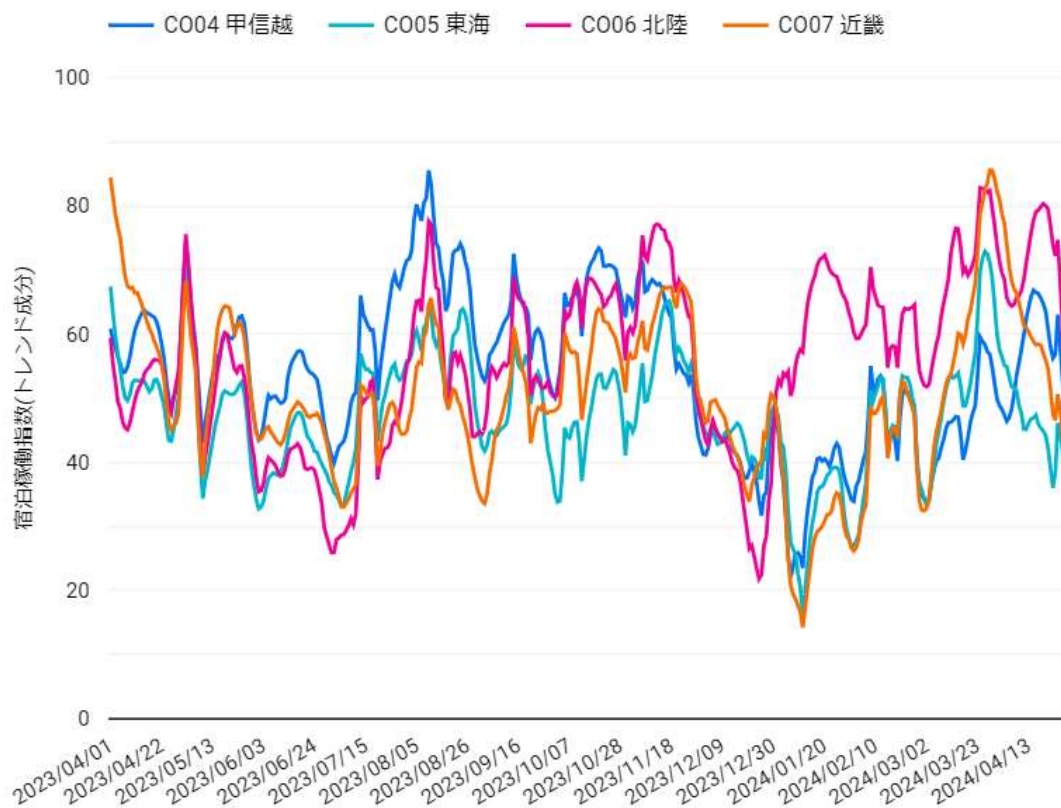


&lt;北海道～南関東&gt;

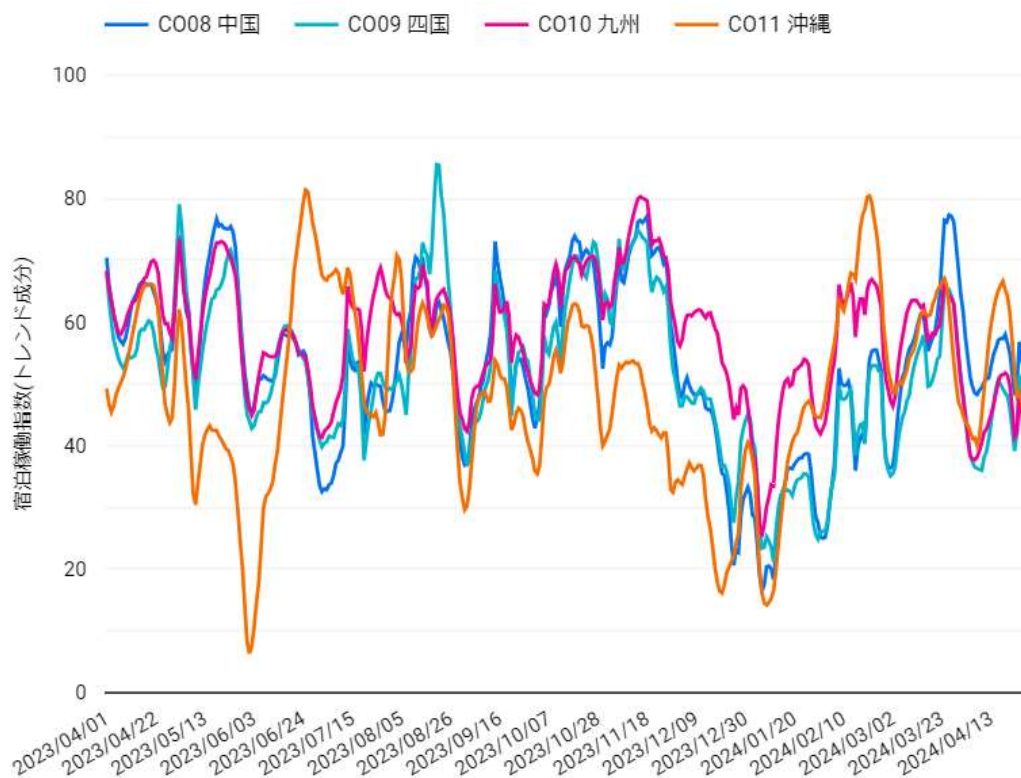




## &lt; 甲信越～近畿 &gt;



## &lt; 中国～沖縄 &gt;



注) 2024年5月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

## 参考資料

### 1. 宿泊稼働指数の算出方法

#### ■日次（原数値）

$$100 - \left( \frac{\text{当日の空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}}{\text{当日を含む過去 730 日の最大空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}} \right) * 100$$

※当該地域において、宿泊施設が過去 365 日以上連続して立地・稼働していると判定される場合に限り算出

※空室情報の取得開始時期が 2017 年 7 月であるため、2018 年 7 月～2019 年 6 月については過去 365 日以上 730 日未満の最大・最小空室数より算出している

#### ■日次（トレンド成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因・イベント要因（イベント・その他の特殊要因）を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

#### ■日次（トレンド+イベント成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

#### ■月平均指数

「日次（トレンド+イベント成分）」を月ごとに単純平均したもの

※ある日のある地域において空室データが存在しない場合は、当日を含む前 14 日間かつ当日を含む後 14 日間において平均空室数が 0 より大きければ、当該地域において宿泊施設が連続して立地・稼働していると判定

※空室データの取得ができなかった日については、当日を含まない前 4 週間の同曜日の平均値により補間した上で要因分解を行っている

### 2. 緊急事態宣言発令に伴う対応

#### ■休業施設を除いた特別集計

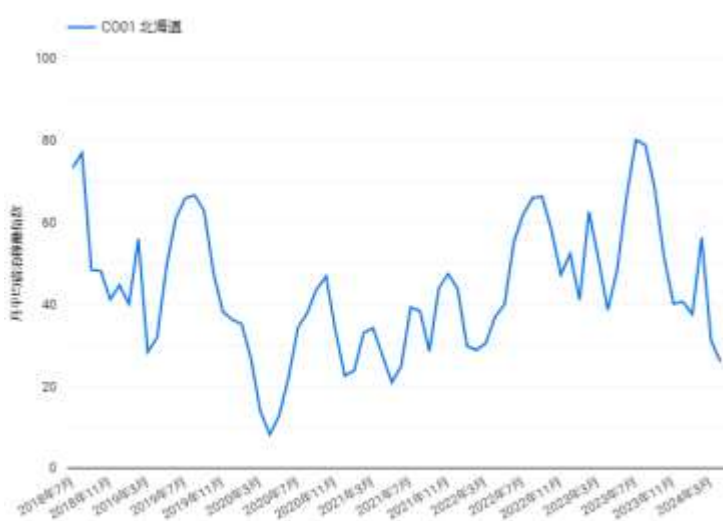
2020 年 4～5 月における緊急事態宣言の発令に伴い宿泊施設の休業がみられた。その影響がある 2020 年 4～6 月の宿泊稼働指数は、休業した宿泊施設を除くための処理を行って算出した。具体的には、2020 年 4 月に 20 日以上かつ 2020 年 5 月に 20 日以上空室が提供されている施設のみを対象に指数を算出した

#### ■特別集計との接続

2021 年 4 月以降に発表している宿泊稼働指数は、全サンプルによる集計（2018 年 7 月～2020 年 3 月および 2020 年 7 月～）と上述の特別集計（2020 年 4 月～2020 年 6 月）を接続したものである。原数値を接続した上で、曜日調整をおこなっている

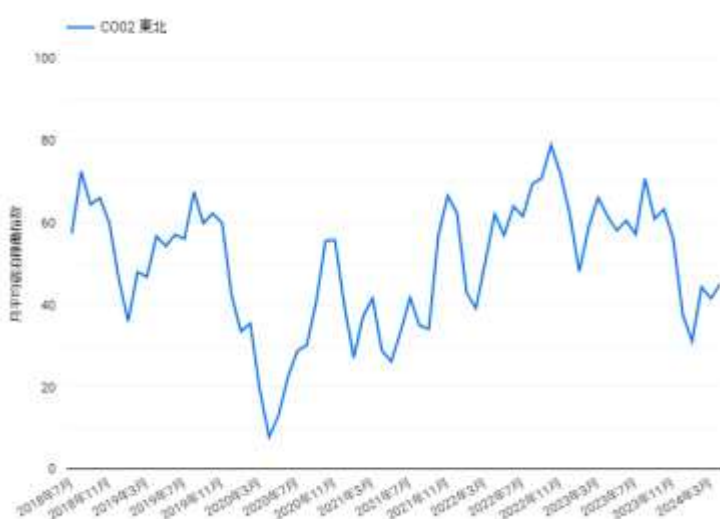
### 3. 地域ブロック別宿泊稼働指数の推移

<北海道>



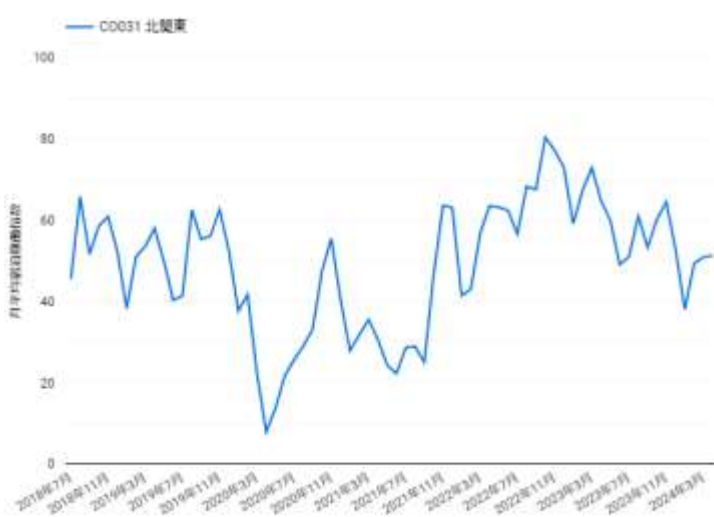
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO01 北海道	25.9	-12.8
2. 2024年3月	CO01 北海道	31.1	-20.0
3. 2024年2月	CO01 北海道	54.3	-6.3
4. 2024年1月	CO01 北海道	37.5	-3.5
5. 2023年12月	CO01 北海道	40.6	-11.7
6. 2023年11月	CO01 北海道	40.1	-7.1
7. 2023年10月	CO01 北海道	51.4	-6.7
8. 2023年9月	CO01 北海道	68.2	7.9
9. 2023年8月	CO01 北海道	78.8	12.9
10. 2023年7月	CO01 北海道	80.1	18.1
11. 2023年6月	CO01 北海道	66.2	11.0
12. 2023年5月	CO01 北海道	48.4	8.5
13. 2023年4月	CO01 北海道	38.5	7.8
14. 2023年3月	CO01 北海道	51.1	20.6
15. 2023年2月	CO01 北海道	62.6	33.8
16. 2023年1月	CO01 北海道	41.0	11.2

<東北>



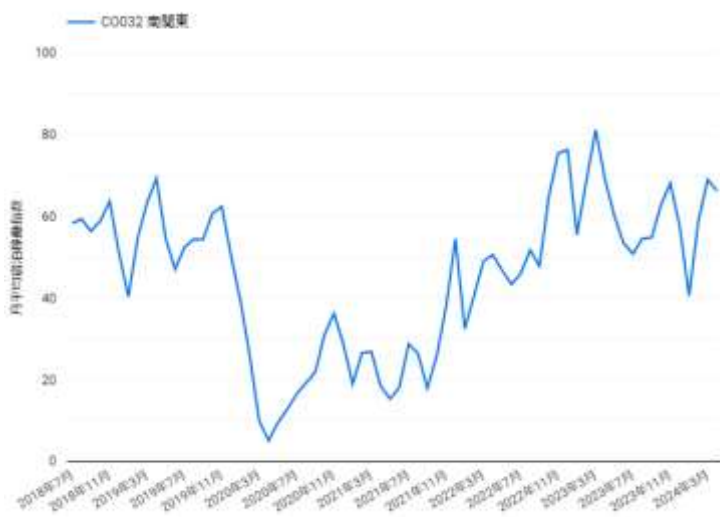
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO02 東北	43.1	-18.3
2. 2024年3月	CO02 東北	41.5	-24.6
3. 2024年2月	CO02 東北	44.3	-14.7
4. 2024年1月	CO02 東北	31.1	-17.0
5. 2023年12月	CO02 東北	37.7	-24.2
6. 2023年11月	CO02 東北	56.0	-15.5
7. 2023年10月	CO02 東北	63.3	-15.6
8. 2023年9月	CO02 東北	60.9	-10.0
9. 2023年8月	CO02 東北	70.7	1.3
10. 2023年7月	CO02 東北	57.1	-4.5
11. 2023年6月	CO02 東北	60.5	-3.5
12. 2023年5月	CO02 東北	58.1	1.2
13. 2023年4月	CO02 東北	61.6	-0.5
14. 2023年3月	CO02 東北	66.1	15.6
15. 2023年2月	CO02 東北	59.0	19.8
16. 2023年1月	CO02 東北	48.1	6.1

<北関東>



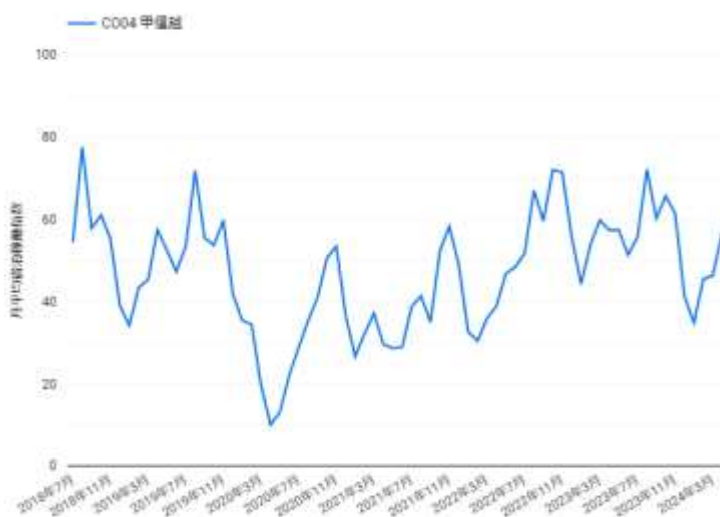
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO031 北関東	51.3	-13.5
2. 2024年3月	CO031 北関東	50.9	-22.0
3. 2024年2月	CO031 北関東	49.3	-18.0
4. 2024年1月	CO031 北関東	38.0	-21.1
5. 2023年12月	CO031 北関東	52.9	-26.1
6. 2023年11月	CO031 北関東	64.5	-12.7
7. 2023年10月	CO031 北関東	60.1	-25.3
8. 2023年9月	CO031 北関東	53.3	-14.1
9. 2023年8月	CO031 北関東	61.0	-7.3
10. 2023年7月	CO031 北関東	51.0	-5.6
11. 2023年6月	CO031 北関東	49.1	-12.3
12. 2023年5月	CO031 北関東	59.9	-3.3
13. 2023年4月	CO031 北関東	64.8	7.3
14. 2023年3月	CO031 北関東	72.9	16.2
15. 2023年2月	CO031 北関東	67.3	24.3
16. 2023年1月	CO031 北関東	56.1	17.7

< 南関東 >



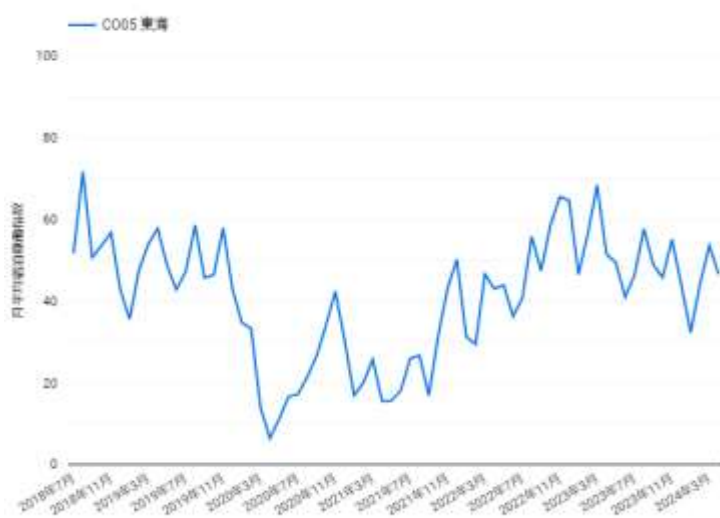
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO032 南関東	66.2	-2.9
2. 2024年3月	CO032 南関東	69.0	-12.2
3. 2024年2月	CO032 南関東	58.9	-9.5
4. 2024年1月	CO032 南関東	40.5	-14.9
5. 2023年12月	CO032 南関東	57.5	-18.8
6. 2023年11月	CO032 南関東	68.1	-7.3
7. 2023年10月	CO032 南関東	62.8	-2.1
8. 2023年9月	CO032 南関東	54.8	7.0
9. 2023年8月	CO032 南関東	54.5	2.8
10. 2023年7月	CO032 南関東	50.8	-4.8
11. 2023年6月	CO032 南関東	53.4	10.1
12. 2023年5月	CO032 南関東	60.1	13.4
13. 2023年4月	CO032 南関東	69.1	18.5
14. 2023年3月	CO032 南関東	81.2	32.2
15. 2023年2月	CO032 南関東	68.3	27.6
16. 2023年1月	CO032 南関東	55.4	23.0

< 甲信越 >



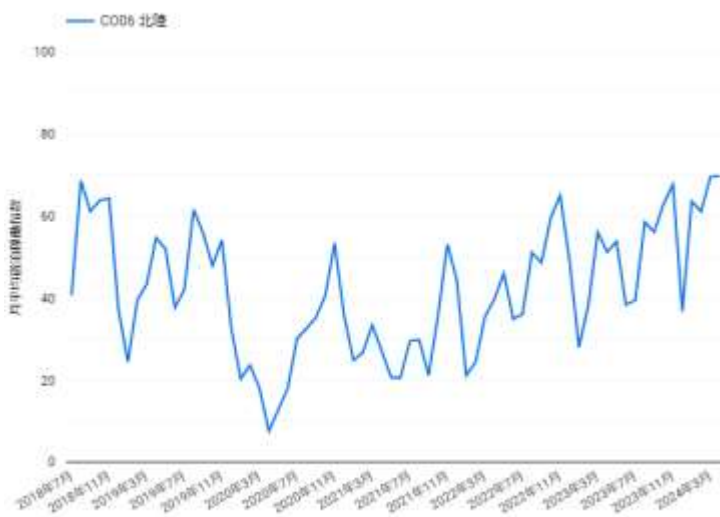
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO04 甲信越	58.8	-0.7
2. 2024年3月	CO04 甲信越	46.3	-13.4
3. 2024年2月	CO04 甲信越	45.4	-8.4
4. 2024年1月	CO04 甲信越	34.8	-8.4
5. 2023年12月	CO04 甲信越	41.1	-14.7
6. 2023年11月	CO04 甲信越	61.2	-10.1
7. 2023年10月	CO04 甲信越	65.6	-6.3
8. 2023年9月	CO04 甲信越	60.2	0.7
9. 2023年8月	CO04 甲信越	72.1	5.1
10. 2023年7月	CO04 甲信越	55.6	4.0
11. 2023年6月	CO04 甲信越	51.3	3.0
12. 2023年5月	CO04 甲信越	57.4	10.7
13. 2023年4月	CO04 甲信越	57.3	18.5
14. 2023年3月	CO04 甲信越	59.7	23.9
15. 2023年2月	CO04 甲信越	53.6	23.4
16. 2023年1月	CO04 甲信越	44.2	11.6

< 東海 >



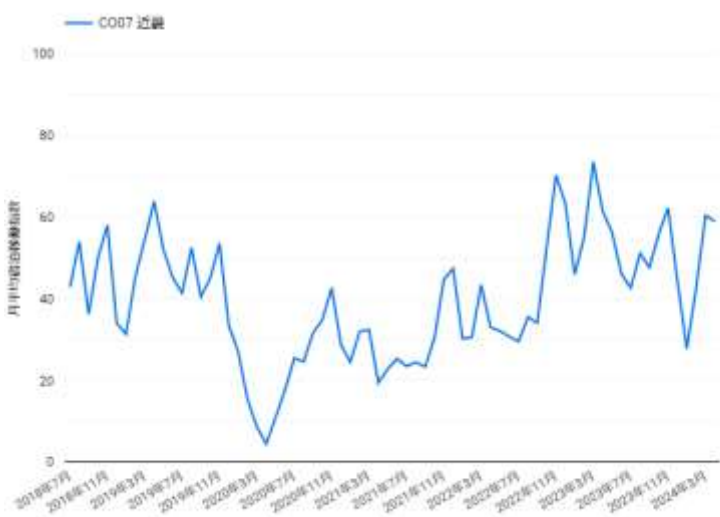
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO05 東海	46.5	-4.9
2. 2024年3月	CO05 東海	53.6	-14.8
3. 2024年2月	CO05 東海	44.2	-12.2
4. 2024年1月	CO05 東海	32.3	-14.2
5. 2023年12月	CO05 東海	44.0	-20.6
6. 2023年11月	CO05 東海	55.1	-10.4
7. 2023年10月	CO05 東海	45.8	-12.7
8. 2023年9月	CO05 東海	48.9	1.5
9. 2023年8月	CO05 東海	57.7	-1.9
10. 2023年7月	CO05 東海	46.4	5.8
11. 2023年6月	CO05 東海	41.0	-4.7
12. 2023年5月	CO05 東海	49.4	5.5
13. 2023年4月	CO05 東海	51.4	8.4
14. 2023年3月	CO05 東海	62.4	21.8
15. 2023年2月	CO05 東海	56.4	27.0
16. 2023年1月	CO05 東海	44.5	15.2

<北陸>



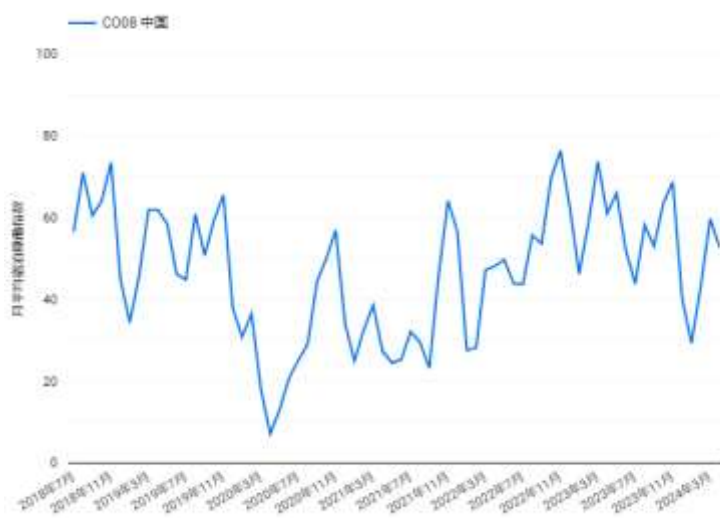
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO06 北陸	69.8	18.6
2. 2024年3月	CO06 北陸	69.6	13.6
3. 2024年2月	CO06 北陸	61.1	22.7
4. 2024年1月	CO06 北陸	63.6	35.6
5. 2023年12月	CO06 北陸	36.7	-12.3
6. 2023年11月	CO06 北陸	67.7	2.7
7. 2023年10月	CO06 北陸	62.9	3.3
8. 2023年9月	CO06 北陸	56.1	7.5
9. 2023年8月	CO06 北陸	58.3	7.4
10. 2023年7月	CO06 北陸	39.5	3.4
11. 2023年6月	CO06 北陸	38.3	2.4
12. 2023年5月	CO06 北陸	53.8	7.8
13. 2023年4月	CO06 北陸	51.2	11.3
14. 2023年3月	CO06 北陸	56.0	20.3
15. 2023年2月	CO06 北陸	38.4	14.0
16. 2023年1月	CO06 北陸	28.0	6.9

<近畿>



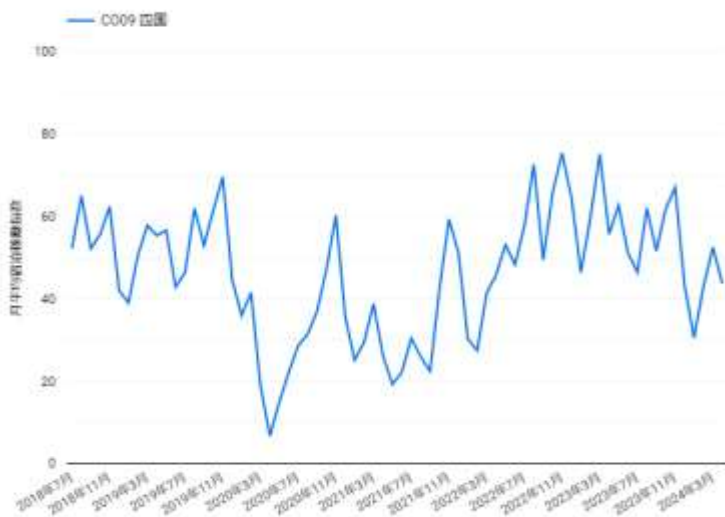
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO07 近畿	59.0	-2.5
2. 2024年3月	CO07 近畿	60.4	-13.1
3. 2024年2月	CO07 近畿	42.6	-12.4
4. 2024年1月	CO07 近畿	27.7	-18.2
5. 2023年12月	CO07 近畿	44.3	-18.1
6. 2023年11月	CO07 近畿	62.3	-6.0
7. 2023年10月	CO07 近畿	55.9	3.4
8. 2023年9月	CO07 近畿	47.7	13.6
9. 2023年8月	CO07 近畿	51.1	15.6
10. 2023年7月	CO07 近畿	42.7	13.2
11. 2023年6月	CO07 近畿	46.2	15.4
12. 2023年5月	CO07 近畿	56.3	24.1
13. 2023年4月	CO07 近畿	61.5	28.3
14. 2023年3月	CO07 近畿	73.5	36.1
15. 2023年2月	CO07 近畿	55.0	24.4
16. 2023年1月	CO07 近畿	45.9	15.7

<中国>



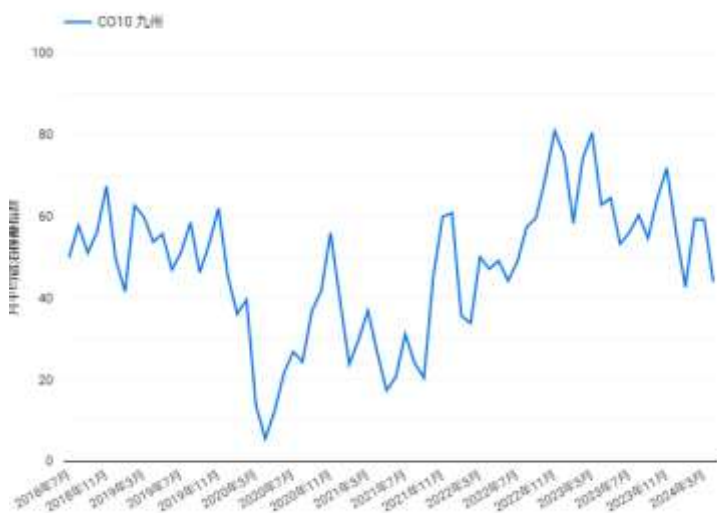
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO08 中国	52.6	-8.2
2. 2024年3月	CO08 中国	56.7	-14.0
3. 2024年2月	CO08 中国	43.3	-13.4
4. 2024年1月	CO08 中国	29.3	-16.3
5. 2023年12月	CO08 中国	40.3	-22.3
6. 2023年11月	CO08 中国	68.7	-7.7
7. 2023年10月	CO08 中国	63.5	-6.1
8. 2023年9月	CO08 中国	53.0	-0.6
9. 2023年8月	CO08 中国	55.2	2.3
10. 2023年7月	CO08 中国	43.8	0.1
11. 2023年6月	CO08 中国	51.9	8.0
12. 2023年5月	CO08 中国	66.0	16.3
13. 2023年4月	CO08 中国	61.0	12.9
14. 2023年3月	CO08 中国	73.7	26.5
15. 2023年2月	CO08 中国	58.7	30.5
16. 2023年1月	CO08 中国	46.2	18.7

< 四国 >



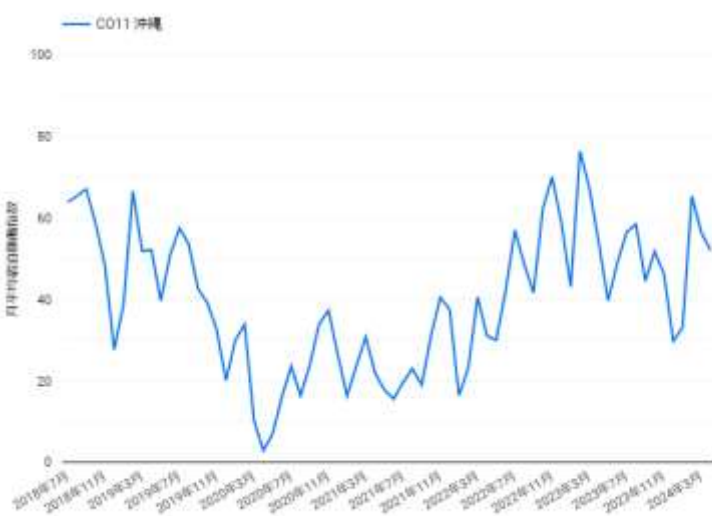
年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO09 四国	43.7	-12.0
2. 2024年3月	CO09 四国	52.5	-22.7
3. 2024年2月	CO09 四国	42.9	-16.7
4. 2024年1月	CO09 四国	30.5	-15.8
5. 2023年12月	CO09 四国	43.2	-21.4
6. 2023年11月	CO09 四国	67.0	-6.4
7. 2023年10月	CO09 四国	61.9	-3.8
8. 2023年9月	CO09 四国	51.6	2.2
9. 2023年8月	CO09 四国	62.0	-10.7
10. 2023年7月	CO09 四国	46.4	-11.2
11. 2023年6月	CO09 四国	51.0	2.7
12. 2023年5月	CO09 四国	62.7	9.6
13. 2023年4月	CO09 四国	55.7	9.9
14. 2023年3月	CO09 四国	75.2	33.8
15. 2023年2月	CO09 四国	59.6	32.2
16. 2023年1月	CO09 四国	46.4	16.1

< 九州 >



年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO10 九州	41.9	-18.9
2. 2024年3月	CO10 九州	59.2	-21.3
3. 2024年2月	CO10 九州	59.3	-14.8
4. 2024年1月	CO10 九州	42.6	-15.7
5. 2023年12月	CO10 九州	56.1	-18.8
6. 2023年11月	CO10 九州	71.8	-6.1
7. 2023年10月	CO10 九州	64.5	-4.9
8. 2023年9月	CO10 九州	54.6	-5.0
9. 2023年8月	CO10 九州	60.2	2.9
10. 2023年7月	CO10 九州	56.0	7.2
11. 2023年6月	CO10 九州	53.2	9.0
12. 2023年5月	CO10 九州	64.6	15.4
13. 2023年4月	CO10 九州	62.8	15.7
14. 2023年3月	CO10 九州	80.5	30.5
15. 2023年2月	CO10 九州	74.1	40.3
16. 2023年1月	CO10 九州	58.2	22.7

< 沖縄 >



年月	地域	指数	前年差
1. 2024年4月	CO11 沖縄	52.1	-1.9
2. 2024年3月	CO11 沖縄	36.5	-10.8
3. 2024年2月	CO11 沖縄	63.4	-11.0
4. 2024年1月	CO11 沖縄	33.1	-10.0
5. 2023年12月	CO11 沖縄	29.8	-28.6
6. 2023年11月	CO11 沖縄	46.3	-23.8
7. 2023年10月	CO11 沖縄	51.8	-10.5
8. 2023年9月	CO11 沖縄	44.5	2.9
9. 2023年8月	CO11 沖縄	58.5	9.8
10. 2023年7月	CO11 沖縄	56.5	-0.5
11. 2023年6月	CO11 沖縄	49.0	7.0
12. 2023年5月	CO11 沖縄	39.7	6.7
13. 2023年4月	CO11 沖縄	54.0	22.8
14. 2023年3月	CO11 沖縄	67.3	26.7
15. 2023年2月	CO11 沖縄	76.4	53.8
16. 2023年1月	CO11 沖縄	43.1	26.7

4.

## ゴールデンウィーク（4月29日～5月6日）の宿泊稼働状況

&lt;全国（上位50市町村）&gt;

全国順位	市町村	都道府県	宿泊稼働指数 (2024年GW)	2023年 同期差
1	佐野市	栃木県	88.2	3.5
2	下呂市	岐阜県	87.8	5.8
3	富士吉田市	山梨県	87.0	7.0
4	あわら市	福井県	86.8	6.8
5	萩市	山口県	86.5	▲2.8
6	仲多度郡琴平町	香川県	85.6	1.2
7	虻田郡洞爺湖町	北海道	85.5	▲1.6
8	玉野市	岡山県	84.3	14.2
9	阿蘇市	熊本県	83.6	▲8.5
10	新宮市	和歌山県	83.5	8.4
11	南都留郡富士河口湖町	山梨県	83.3	7.9
12	由布市	大分県	83.0	▲10.9
13	駿東郡長泉町	静岡県	82.6	8.7
14	君津市	千葉県	82.0	▲4.8
15	鳥羽市	三重県	81.9	1.6
16	出雲市	島根県	81.6	▲1.8
17	南都留郡山中湖村	山梨県	81.5	4.9
18	那須郡那須町	栃木県	81.3	▲10.4
19	海老名市	神奈川県	80.1	10.2
20	東牟婁郡那智勝浦町	和歌山県	79.7	▲2.0
21	伊勢市	三重県	79.1	10.8
22	黒部市	富山県	78.9	8.2
23	洲本市	兵庫県	78.7	▲9.6
24	会津若松市	福島県	78.6	▲3.0
25	四万十市	高知県	78.5	▲5.4
26	平戸市	長崎県	78.4	2.7
27	日光市	栃木県	78.2	▲5.4
28	南あわじ市	兵庫県	78.2	5.7
29	熱海市	静岡県	78.1	2.5
30	板野郡松茂町	徳島県	77.8	▲17.4
31	田辺市	和歌山県	77.7	▲1.9
32	諏訪市	長野県	77.4	3.9
33	志摩市	三重県	77.3	6.2
34	伊豆市	静岡県	76.6	▲1.5
35	宇和島市	愛媛県	76.5	2.8
36	足柄下郡湯河原町	神奈川県	76.4	0.4
37	足柄下郡箱根町	神奈川県	76.3	▲6.3
38	鎌倉市	神奈川県	76.1	▲4.2
39	湖西市	静岡県	75.6	1.5
40	安曇野市	長野県	75.5	3.3
41	佐久市	長野県	75.4	5.9
42	吾妻郡草津町	群馬県	75.4	▲3.6
43	渋川市	群馬県	75.4	▲4.1
44	西牟婁郡白浜町	和歌山県	75.4	▲1.1
45	益田市	島根県	75.2	17.7
46	松本市	長野県	75.0	1.5
47	糸満市	沖縄県	74.7	7.7
48	加賀市	石川県	74.7	10.0
49	別府市	大分県	74.1	▲2.8
50	秩父市	埼玉県	74.0	▲9.6

## &lt;九州・沖縄・山口（上位 30 市町村）&gt;

九州順位	市町村	都道府県	宿泊稼働指数 (2024年GW)	2023年 同期差
1	萩市	山口県	86.5	▲ 2.8
2	阿蘇市	熊本県	83.6	▲ 8.5
3	由布市	大分県	83.0	▲ 10.9
4	平戸市	長崎県	78.4	2.7
5	糸満市	沖縄県	74.7	7.7
6	別府市	大分県	74.1	▲ 2.8
7	糸島市	福岡県	71.6	▲ 4.5
8	嬉野市	佐賀県	70.3	▲ 19.9
9	国頭郡本部町	沖縄県	70.3	▲ 2.6
10	島原市	長崎県	69.9	▲ 0.2
11	山口市	山口県	69.6	▲ 1.2
12	天草市	熊本県	69.4	▲ 8.0
13	中頭郡北谷町	沖縄県	66.7	▲ 9.5
14	国頭郡恩納村	沖縄県	66.0	▲ 5.2
15	下関市	山口県	65.5	▲ 15.0
16	雲仙市	長崎県	65.2	▲ 8.5
17	日南市	宮崎県	65.2	▲ 18.9
18	宇部市	山口県	63.0	▲ 5.6
19	宮古島市	沖縄県	62.4	▲ 11.6
20	山鹿市	熊本県	58.9	▲ 33.1
21	大村市	長崎県	58.4	▲ 3.6
22	福岡市	福岡県	58.2	▲ 6.8
23	佐世保市	長崎県	58.0	▲ 15.3
24	中津市	大分県	56.4	▲ 18.4
25	唐津市	佐賀県	55.3	▲ 22.2
26	鳥栖市	佐賀県	54.8	0.5
27	岩国市	山口県	52.9	2.2
28	速見郡日出町	大分県	52.6	▲ 9.6
29	京都郡苅田町	福岡県	51.3	▲ 26.0
30	鹿児島市	鹿児島県	50.8	▲ 20.2

注) 2024年5月7日時点の推計値

宿泊稼働指数は4月27日～5月6日における日次（原数値）の平均値、前年は2023年4月29日～5月7日との比較

全国順位・九州順位は2018年以降の全期間における最大空室数が150以上の市町村が対象

資料) 九経調 DATASALAD